

# Firmware 外部メモリへの書き込み

2017/12/01

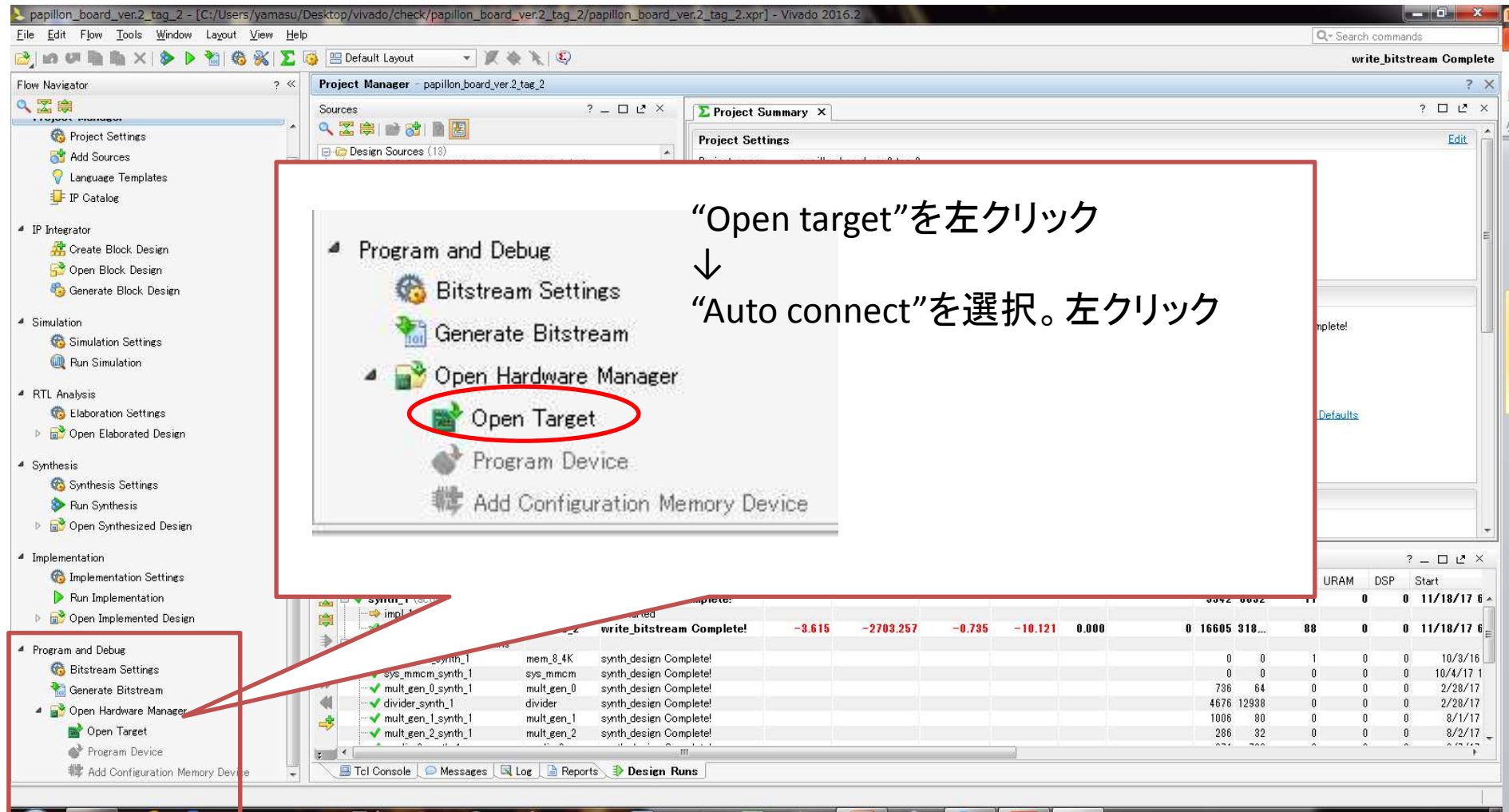
弥益 紗希

# 主な手順

1. Hardware managerを開き, ターゲットになるFPGAを選択
2. Firmwareを書き込むメモリを選択
3. メモリに書き込むファイルの選択
4. Firmwareの書き込み
5. 再起動

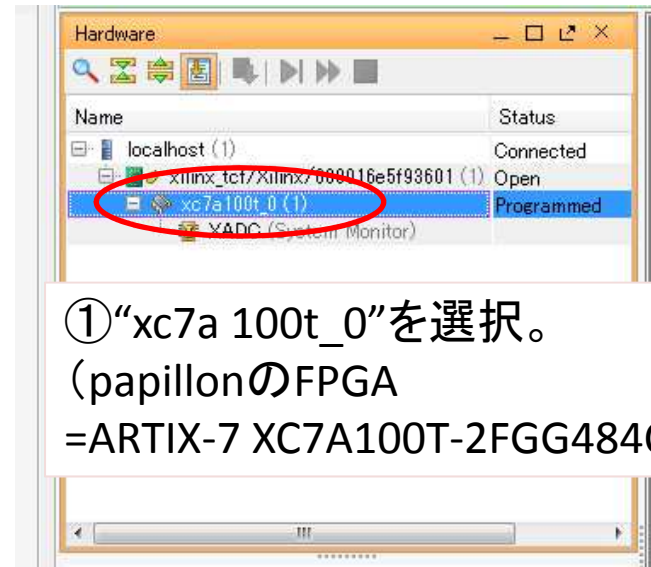
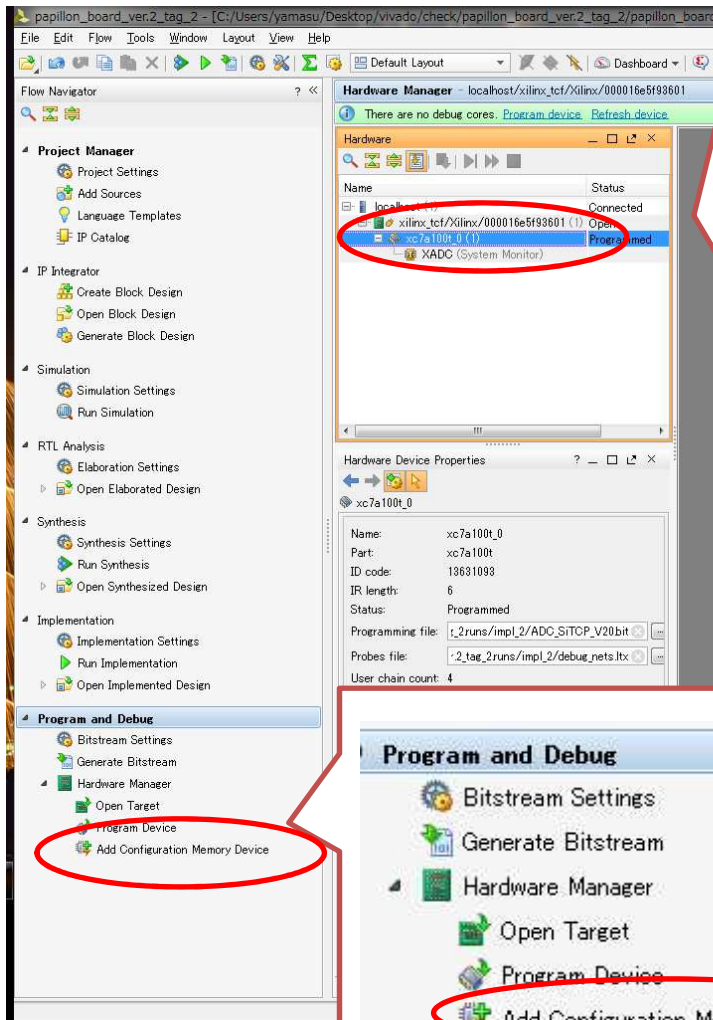
# Open target

- Vivado開始画面



# Open target

- Hardware manager画面 コンフィグレーションメモリ・対象FPGAの選択



①“xc7a 100t\_0”を選択。  
(papillonのFPGA  
=ARTIX-7 XC7A100T-2FGG484C)

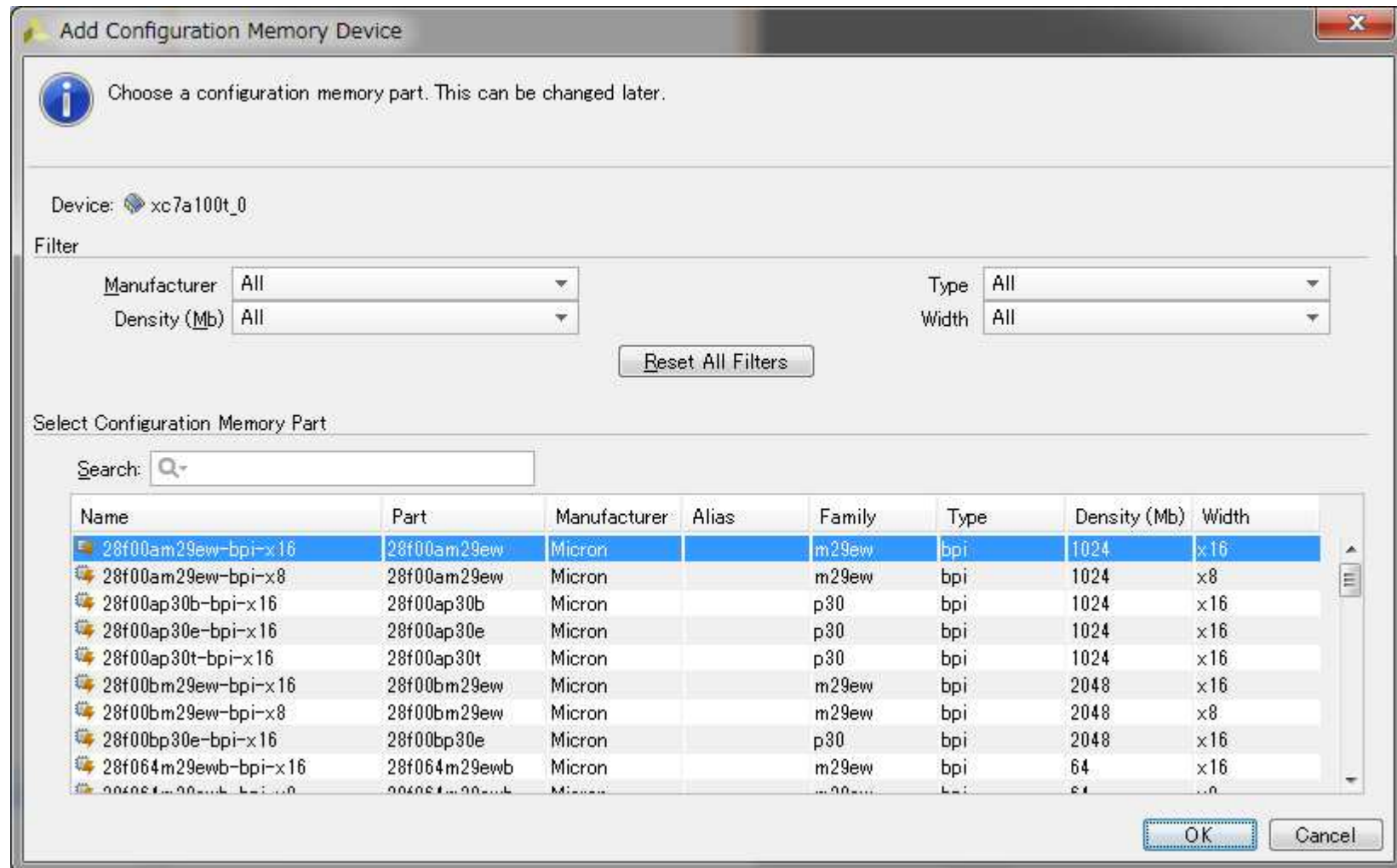
②“Add Configuration Memory Device”  
を選択。左クリック



③xc7a 100t\_0”を選択

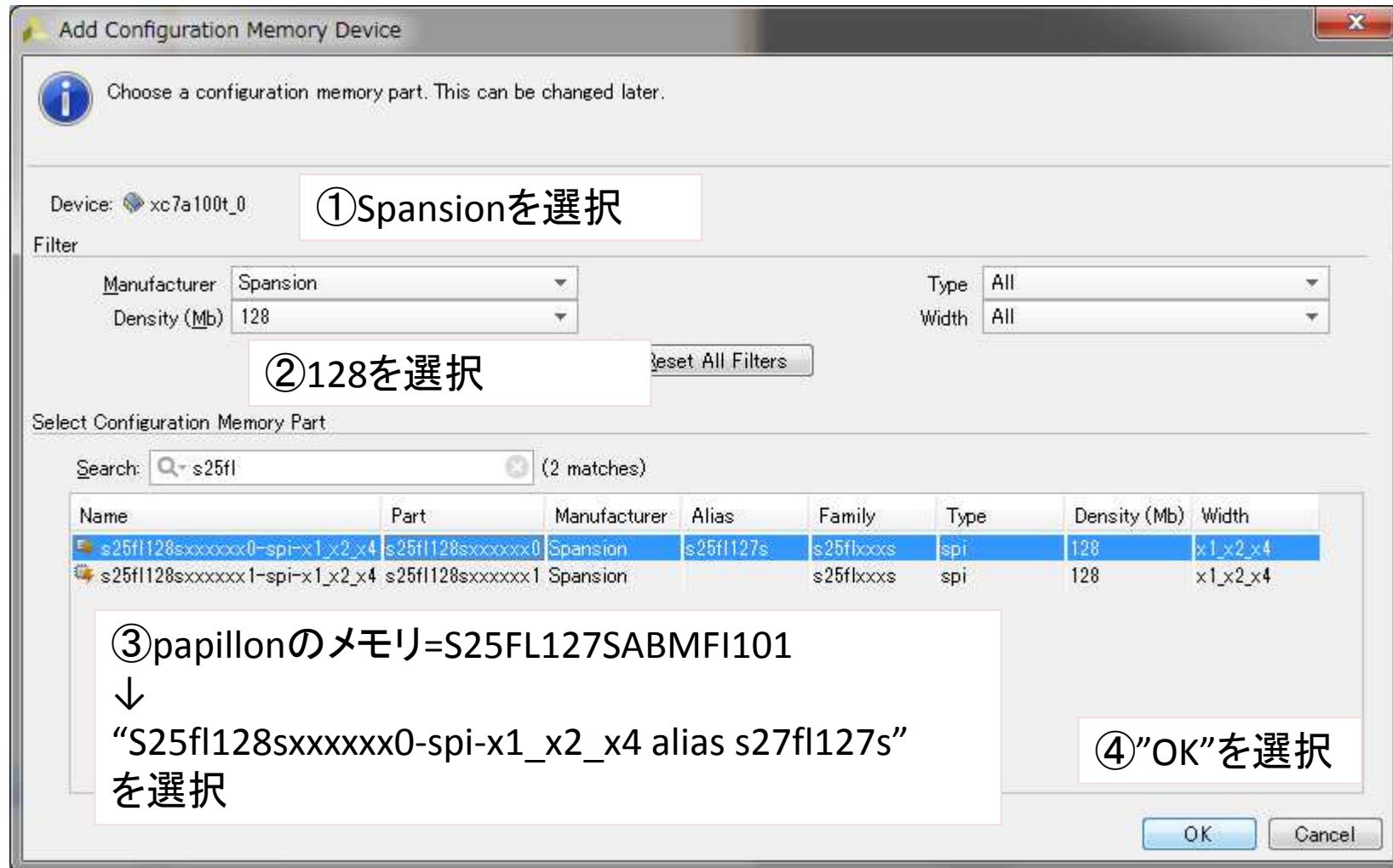
# Firmwareを書き込むメモリの選択

- Firmwareの書き込み先を聞かれる

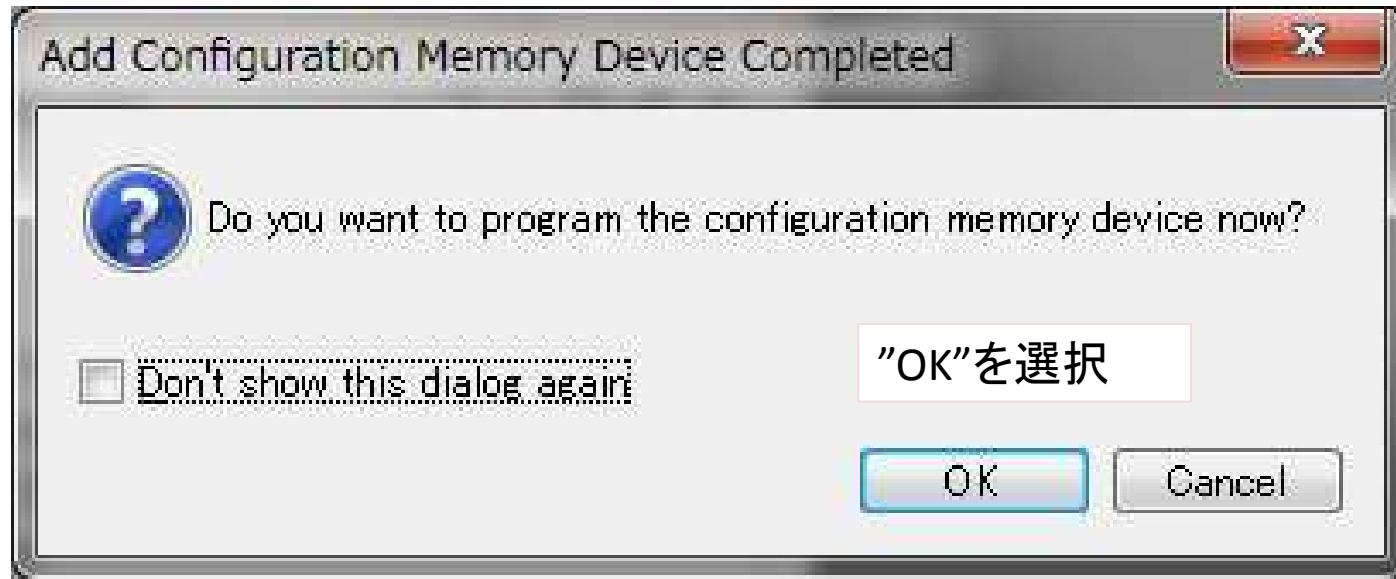


# Firmwareを書き込むメモリの選択

- メモリ選択画面

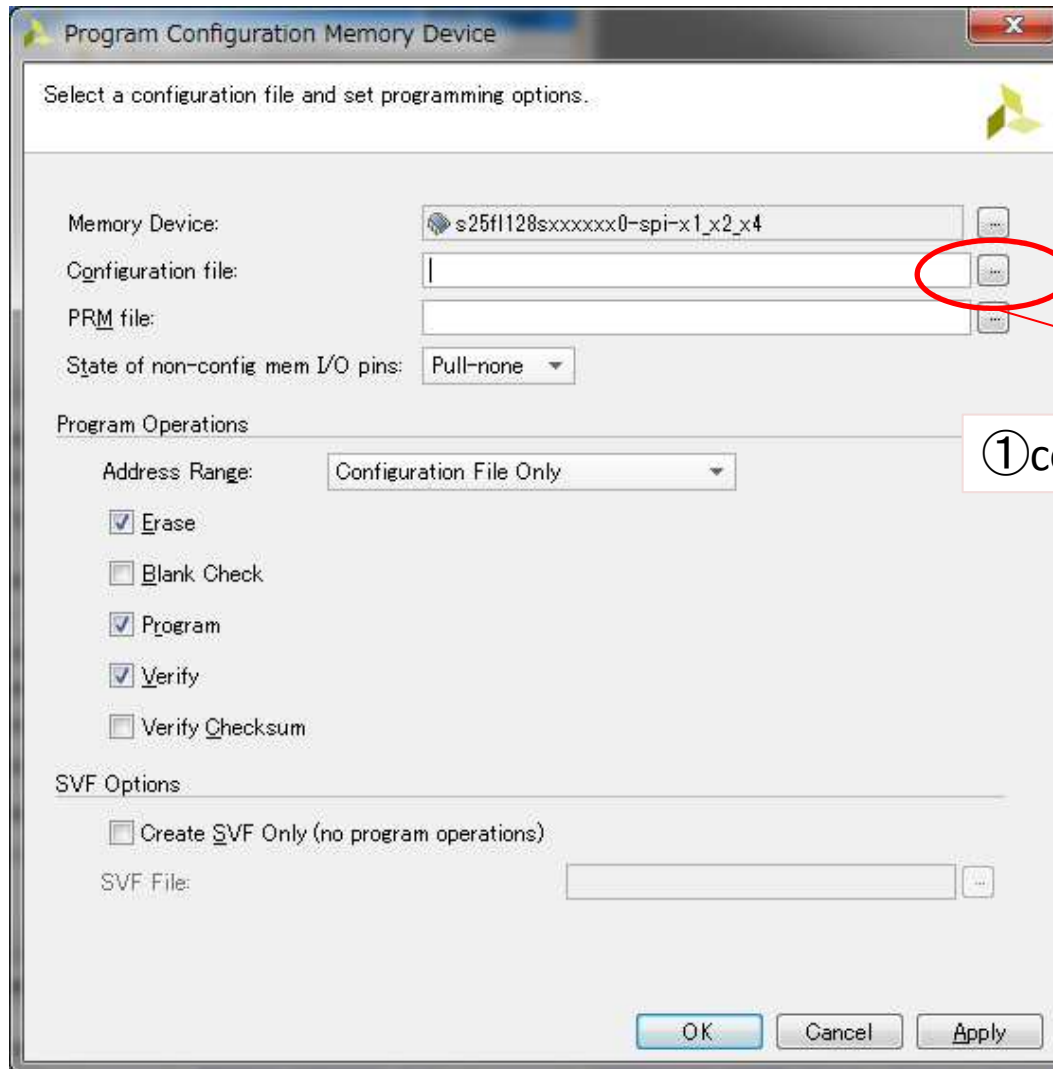


# Firmwareを書き込むメモリの選択



# 書き込むfirmwareファイルの選択

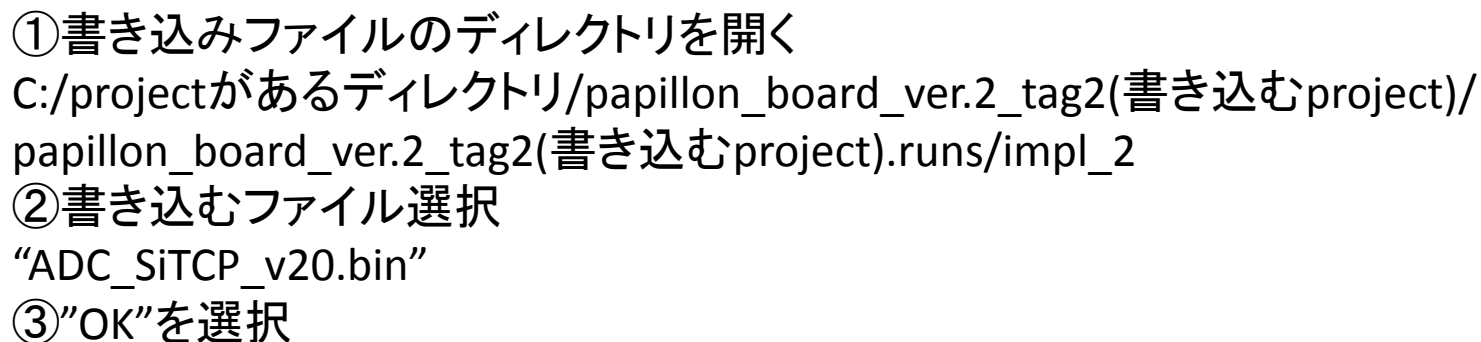
- メモリに書き込むfirmwareのファイル・オプション選択画面



①configuration fileの場所を選択

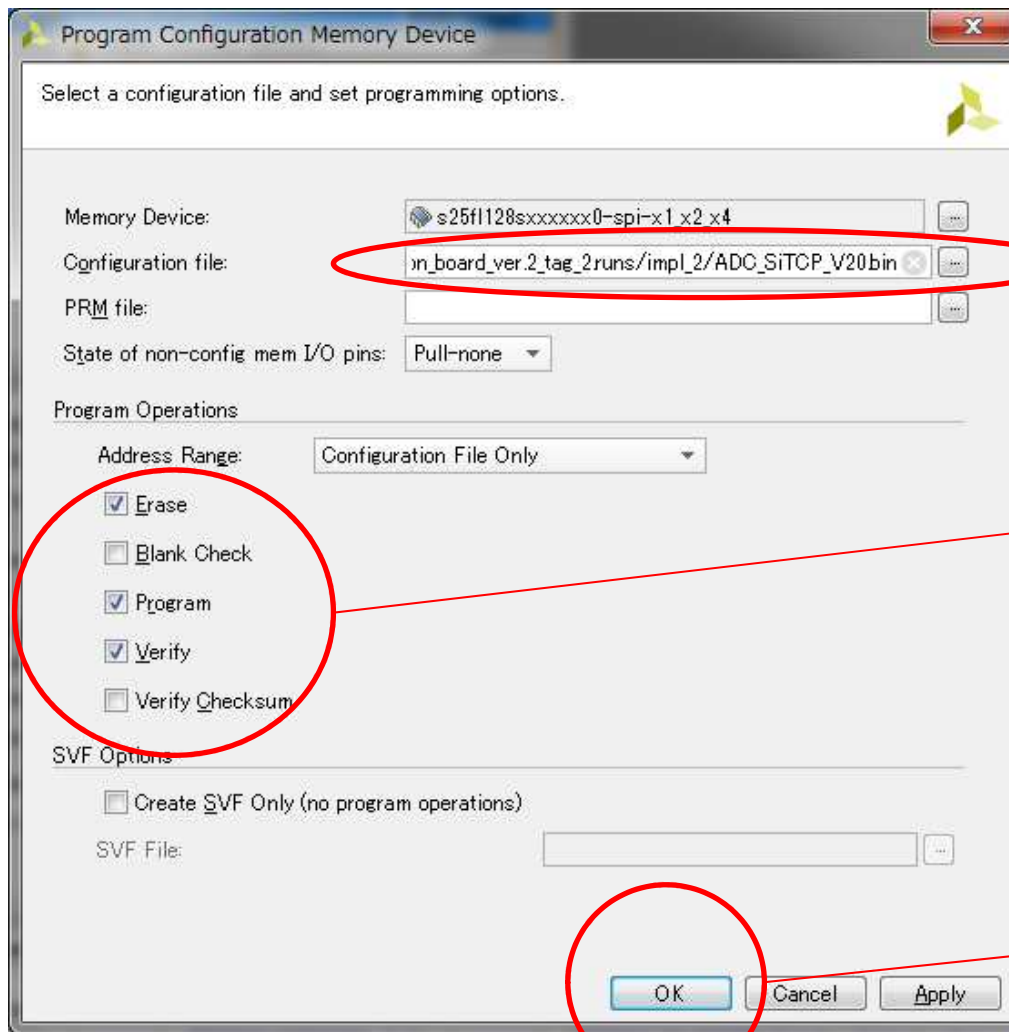


- メモリに書き込むfirmwareのファイル選択画面



# 書き込むfirmwareファイルの選択

- メモリに書き込むfirmwareのファイル・オプション選択画面



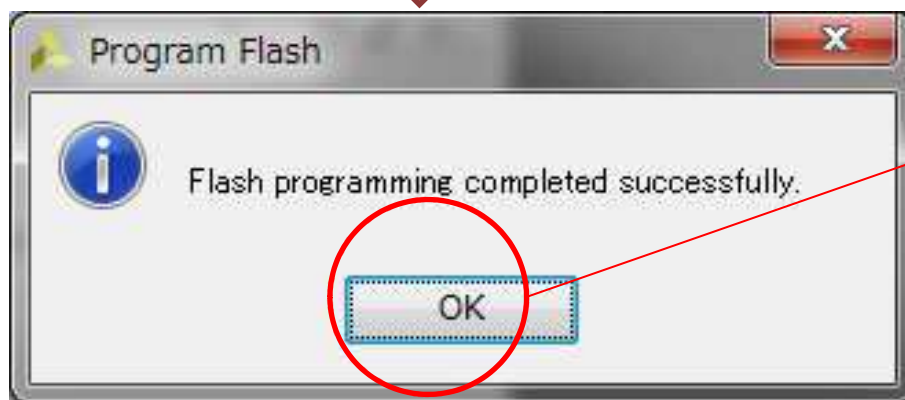
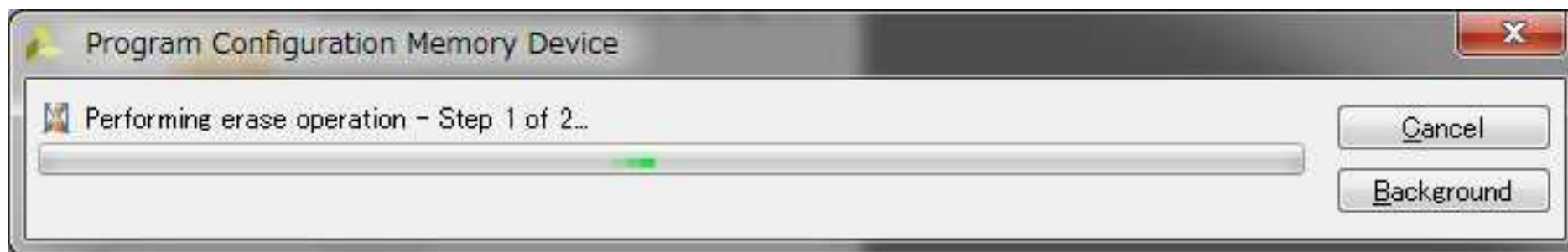
①“ADC\_SiTCP\_v20.bin”が  
選択されていることを確認

②「Erase, Program, Verify」が  
チェックされていることを確認

③“OK”を選択。左クリック

# Firmware projectの書き込み

- 書き込み中の画面・・・時間がかかります。(5分程度)



書き込みが終わるとお知らせが来ます



“OK”をクリック

# Papillon再起動

- 再起動させて自動でデータが読み込まれることを確認
  1. Papillonの電源をOFF
  2. Papillonの電源をON
  3. しばらくすると DONE LEDが点灯します
    - なかなか点灯しない場合は, 1,2を再度行ってください。2,3回繰り返すとLEDが点灯するはずです
  4. これでデータがダウンロードされているはずです
    1. 書き込まれているfirmwareのversionを確認したい場合は, RBCPで

```
rd 0x0 4
```

  
⇒1711\_1801(top module ADC\_SiTCP\_V20.vの”SYN\_DATE”の値)
  5. 初期設定 & 動作確認してください